

大河原中学校

**心をひとつに
感動の立志式**

2月1日、えずこホールを会場に立志式が行われました。今年で第56回を数える立志式は、全国に先駆けて大河原中学校が始めた伝統ある行事です。

今年も2学年は立志式に向けて11月から準備と練習を進めてきました。抱負発表では各クラスの代表6名がそれぞれ、看護師、白バイ警官、アナウンサー、航空機の整備士、教師、自動車の整備士になりたいという将来の夢を堂々と発表しました。記念合唱では、2学年生徒全員が心を一つにし、感動の歌声を響かせました。立志式を機に、自分が立てた志に向かって、更に努力をしていきます。



活動の途中、担任の先生の指

示で生徒が一斉に立ち上がったかと思うと、みんなで声をそろえての暗唱が始まりました。間違えた人から席に座るルールになっっているの、みんな必死です。残念ながら全員成功とはいきませんが、みんな暗唱を楽しんでいる様子から、学級の雰囲気よさが感じられます。

今後、暗唱で優れた文章に触れる時間を確保し学習に向かう姿勢につなげていきたいと思えます。

大河原南小学校

**漢字チャンピオン誕生
「もがり漢字検定」合格証授与**

冬休み後に各学級で実施した「もがり漢字検定」の合格者に認定証が授与されました。

児童は、合格目指して冬休み中から漢字の練習に取り組みました。合格の認定証は児童一人ひとりに手渡されます。校長室で校長先生から認定証



学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします

さくら並木

「人はひとりでは生きられない」
～一世紀を越えてたくましく生き抜いた田中トメさん～ 大河原町長 齋 清志

宮城県保健福祉部が毎年発行する「データから見たみやぎの健康」の概要版が手元に届きました。最初に取り上げられているのが健康寿命の市町村別状況でした。その中でも、平均寿命から健康寿命を引いた不健康な期間の長さが示されていて、男女とも飛びぬけて短いのが大河原町となっています。後期高齢者の健康診査の受診率の高さや、男女とも生活習慣病の保有率が低いことなどから考えると、特に高齢者の健康意識の高さは県下でも特筆ものであることが判ります。

本町の百歳を超える長寿のかたは現在9名ですが、大変残念なことに最高齢の田中トメさんが1月末に享年114歳で人生の幕を閉じました。トメさんは、大河原町食生活改善推進委員協議会（ヘルスメイト）の初代会長等を務められ、本町に様々な貢献をなされた有名なかたです。活動開始当初は戦後間もなくで、「物のない時代。いかにして家族みんなで健康に生きていくか。」を課題として、保健所の指導の下、食について学びながら、住民にバランスのとれた食事づくりの伝達活動を行ったのでした。また時には、町に栄養士配置の働きかけを行ったり、巡回指導用のキッチンカー購入資金を集めて歩いたり、町民の健康を願って熱心な活動に奔走されたのです。生来の資性温厚にして人格円満なお人柄から、常に町のために進んで骨身を惜しまない心の持ち主として誰もが認める存在でした。

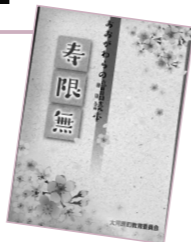
また、この様なことから地域の皆さんからの信望も厚く、小中学校のPTA役員を永年務められたほか、大河原生活学級委員長を務めるなど、本町の教育の発展に寄与されました。トメさんからの多額のご寄附は、町内小学校の児童用図書購入費にあてられ「田中図書館」として今も広く活用されています。改めてトメさんの郷土愛と教育への情熱に対し、心より感謝申し上げます。

これは、トメさんがご主人とともに教員をされていた北海道夕張市での長屋暮らしのエピソードです。「醤油貸してね。砂糖ある。出かけるから子守お願いね。」と、みんなが支えあい助けあって暮らすのが当たり前のことだったそうです。当時は振り返りながら、「人はひとりでは生きられませぬね。みんなで助けあうこと、そして感謝の気持ちも大切にね。」と、穏やかな口調でお話しされました。一世紀を越えてたくましく生き抜いたトメさんのやさしい思いに、今も心が震えるような感動を覚えています。現代社会にあって、社会的に孤立する人々に対し、人ひとりの存在を認めあい、つながりを持つような社会的包摂の理念の大切さを強く意識させられる思いです。



ご生前の田中トメさん

「笑ってすごす。それが一番」これはトメさんが110歳のお誕生日に記された言葉です。お人柄を感じるとともに笑っているお姿が忍ばれま



暗唱大好き

金中編



ある日の朝のこと、2年生の教室から、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」の冒頭部分を唱える声が聞こえてきました。週に1回の暗唱の日です。金ヶ瀬中学校では週に1回、朝の時間帯に暗唱読本に取り組む時間を設定しています。ある人は大きな声で気持ちを込めて、ある人は目を閉じてぶつぶつと繰り返す。各自が工夫をして一人ひとりが暗唱に取り組んでいます。

示で生徒が一斉に立ち上がったかと思うと、みんなで声をそろえての暗唱が始まりました。間違えた人から席に座るルールになっっているの、みんな必死です。残念ながら全員成功とはいきませんが、みんな暗唱を楽しんでいる様子から、学級の雰囲気よさが感じられます。

今後、暗唱で優れた文章に触れる時間を確保し学習に向かう姿勢につなげていきたいと思えます。

駅前図書館今月の新刊

ま ち の 本 棚



一般 ▶ 世界で一番美しいかくれんぼ
アンナ・レヴィン:文 西本 かのる:訳 【小学館】
姿や動きを周囲に似せる、見事な擬態の技を身につけた生きものたち。森、砂漠、草原、海など、世界中のさまざまな場所でとらえた擬態の瞬間を集めた写真集。美しく、発見とおどろきに満ちた「かくれんぼゲーム」を楽しめます。

小説 ▶ 跳ぶ男 青山 文平:著 【文藝春秋】
母と友を失い、独りになった少年・剛は、能だけが生き甲斐だった。だが、土地も米も金もない貧乏藩の藩主の身代わりを命じられる。そこには、友の言葉と藩のある事情があった。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

児童 ▶ にゅうさん菌
佐々木 泰子:監修 ヒロミチイト:絵 【農山漁村文化協会】
ワクワクする菌(きん)の世界へようこそ!ヨーグルトづくりに使われるなど、大おかしから人類に利用されてきたにゅうさん菌。にゅうさん菌がどこにいるのか、どれくらいの数の仲間がいるのかを説明し、ヨーグルトやチーズ、漬物(つけもの)のつくりかたなどを紹介(しょうがい)します。

絵本 ▶ カドこいた? 鈴木のりたけ:作・絵 【小学館】
あかがてのうえにとまった。おもいきりページをめくっては、はんでやっつけよう。せーのっ・パーン!あーあにげられた。カドこいた?つみきのうえにいた!もういっかい、せーのっ・ガッちゃん!また、にげられた。カドこいた?ケーキのうえにいた!せーのっ・べちゃ!さいごには、おどろきのてんかいがまっている。たのしいえほん。